

(別紙)「鹿児島県度里親支援センター設置運営事業」企画提案 審査基準

審査項目	チェックポイント
1 運営方針	
①	・社会的養育及び里親制度の現状等を十分に理解しており、里親支援センターとして目指すべき明確なビジョンを有しているか。
2 業務実施体制	
②	・法人として社会的養育の分野における十分な知識・経験を有しており、本業務の遂行にその知識、ノウハウ、経験等を十分生かせることが期待できるか。 ・本業務を円滑かつ効果的に遂行できる資格や実務経験を有する職員が確保されているか（今後職員を確保する場合は、その方策や見込みは確実か）。
③	・国や県の仕様書に示された最低基準（開所時間、人数、職種、勤務形態等）を満たすことが明確か。 ・支援対象は、県内全域またはそれに近い範囲となっているか。 ・夜間や祝休日における連絡体制や対応体制が確保されているか。
④	○適切な個人情報の管理体制が確保されているか。 ・個人情報の管理の責任の所在が明確か。 ・個人情報を含む書類やデータ等の管理方法等が適切か。 ・相談室等におけるプライバシー保護の工夫等がされているか。
⑤	・職員の資質の向上に向け、研修や人材育成に関する取組が具体的に示されているか。

審査項目	チェックポイント
3 事業の実施計画	
(1) 里親制度等普及促進・リクルート業務	
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民に対し、里親制度等について、効果的に普及啓発できる内容（時期や回数、地域やターゲット等）であるか。 ・ 里親登録希望者に対し、里親制度への理解を促すほか、里親になることへの不安や負担感を軽減することができる面接等の取組があるか。 ・ 地域における里親の孤立を防ぐため、市町村とも十分な連携がとられているか。
(2) 里親等研修・トレーニング業務	
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国実施要綱で示された研修計画（基礎研修等の法定研修、未委託里親等に対する研修・トレーニング等）は明確か。 ・ 研修やトレーニングを通じて、里親の強みや課題を把握し、マッチングや里親支援等に活かすことが期待できるか。 ・ 里親が研修を受講しやすいよう、開催の曜日や場所等を工夫しているか。 ・ 里親制度への理解を確認するため、研修で習得した内容や反省点について言語化する機会が設けられているか。
(3) 里親等委託推進業務	
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングにおける里親候補者と子どもの交流や関係調整を十分に行うための工夫をしているか。 ・ 子どもを迎える里親家庭への準備支援は十分か。 ・ 里親委託の開始に当たっての関係機関との連携方法が具体的に示されているか。 ・ 児童相談所が自立支援計画を作成した際に、計画が適切に実行されているか、進捗状況の把握や作成・見直しに係る助言が可能であるか。

審査項目	チェックポイント
(4) 里親等養育支援業務	
⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・国実施要綱で示された支援計画（情報提供・訪問支援，レスパイト・ケアの調整，相互交流，援助活動等）は明確か。 ・里親と深い信頼関係を構築し，個々の里親の状況に合った助言や安心して児童を養育できるような支援を行うことができるか。 ・委託決定後の里親家庭において発生する課題が想定でき，それに対する具体的な支援策が考えられているか。
(5) 里親等委託児童自立支援業務	
⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・里親委託中から子どもの課題に応じた支援を行うことができる内容となっているか。 ・委託解除後のアフターケアの内容は十分か。 ・アフターケアが必要な者について，児童自立生活援助事業等の必要な支援につなぐことが可能であるか。
4 その他	
⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が，本業務を効率的かつ効果的に遂行する上で，計画性，具体性及び妥当性並びに実施の可能性を伴ったものであるか。 ・本業務に取り組む意欲が感じられるか。